

座間味村むら・ひと・しごと - 1

「座間味村総合戦略策定支援業務委託」仕様書

1 委託業務名

「座間味村総合戦略策定支援業務委託」

2 委託期間

契約締結の日から平成 28 年 2 月 29 日まで

3 業務委託料： 6, 000, 000 円(税込) 以内

業務担当者の本村への旅費、事業実施に関わる有識者などの旅費・費用弁償、各種の印刷料などすべてを含みます。

4 事業の目的

平成 26 年 11 月に施行された「まち・ひと・しごと創生法」では、日本の人口減少に歯止めをかけるなど、将来にわたって活力ある日本社会を維持することとしており、沖縄県においても「沖縄県人口増加計画（改定版）（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）」がこのほど策定された。

同計画において本村は、県内でも特に人口減少の深刻な地域と位置づけられており、独自の視点において村の人口の現状分析と将来の展望を示す「座間味村人口ビジョン」の策定と村民との課題の共有が急務となっている。また、座間味村の人口は、景気動向（観光客数）により激しく増減する傾向にあり、自然増と社会増の安定的拡大に向けて対策を講じる必要がある。圧倒的な自然と地域力という座間味村のポテンシャルを引き出し、離島村が社会に提供できる役割を果たすことで、自らの価値を高め、一方で条件不利性を克服するために何をすべきなのか。今後 5 カ年の目標と取り組みを示す「座間味村総合戦略」の策定にあたり、専門知識を有する事業者企画提案を求める。

5 委託業務の内容

(1) 計画準備

1) 人口ビジョン及び総合戦略策定にあたって必要な意見集約を行う

○村内商工団体（漁協、商工会、観光協会）や事業主の意見集約

○若者、女性など村民の意見集約

○地元を離れている島出身者の意見集約

2) 既計画の把握と整理

○座間味村第 4 次総合計画など村の上位計画、既存計画、また「沖縄県人口増加計画（改定版）（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）」などとの整合性を保つため、関連する内容について把握し整理を行う。

また、本村の定住促進策、産業振興策など関連する施策の評価を行う。

(2) 人口ビジョン策定支援

- 1) 将来人口推計と人口の変化が地域の将来に与える影響の分析
 - 公表されている各種の人口推計の根拠を明らかにし、現状の人口動向をベースに村独自の将来推計を村内三島別に行う
 - 現状のままで推移した場合、将来の地域住民の生活に与える影響について分析を行う
- 2) 本村における中長期の人口目標を設定し、村民と課題を共有する
 - 本村における中長期の人口目標を設定する
 - 本村が直面する課題を村民と共有するツールを制作する

(3) 総合戦略策定支援

- 1) 県計画を勘案し、「雇用の創出(しごとづくり)」、「新たな交流促進策」、「結婚・出産・子育て環境づくり」、「安心・安全な離島生活環境づくり」などの目標に対しての今後5年間の施策をまとめ重要業績評価指標(KPI)を設定する。(継続執行中の一括交付金事業などで本計画に関連する定住促進事業などもあわせて盛り込む)
- 2) 座間味村地方創生プロジェクトが提案する具体的施策「座間味村 21 世紀 三島物語(仮説)」に基づき、それぞれについて5年間の事業計画を立案し、重要業績評価指標(KPI)を設定する。
- 3) 有識者委員会(産業、官界、学術、メディア、金融機関)を組織し、専門家の意見を集約する

(4) 成果品の作成

- ・座間味村人口ビジョン・総合戦略 …………… 100 部
- ・上記電子データ
- ・アンケート集計結果、会議録

座間味村地方創生プロジェクト発 座間味村 21 世紀三島物語(仮説)

2008 年のリーマンショックの影響を受け、本村の観光客数は 6 万人台まで減少しました。2014 年 3 月の国立公園指定をきっかけに、再び観光客数は増加しており、2015 年の入域は 10 万人近くに達するでしょう。観光はこれからも座間味村の経済の軸となりますが、景気と海況に左右されやすく、安定しているとはいえません。また夏場にだけ観光客が集中する「季節重労働」も離島観光地の課題です。

本村は一村三島であり、島民性もインフラや公共施設の状況もそれぞれに異なります。“安定した雇用”と“本村への新しい人の流れ”づくりのため、別々に戦略を講じる必要があると私たちは考えます。次の三案はあくまで仮説ではありますが、地方版総合戦略に盛り込み、今後 5 年の計画期間中は、これらを実現するための施策を積極的に展開したいと考えます。

- ① 座間味島を中心に村全域で法人誘客を展開する… 冬場も来島する新たな交流ターゲットを創出するため、「企業」を新たな顧客に、アフターMICE や企業研修などのビジネスツアーを販売する。ストレス社会で生きる人々の人間力回復の場として離島村である本村が機能することで、わが国企業人のメンタルヘルス増進に寄与する。
- ② 阿嘉島ではサンゴビジネスをスタートする… 本村ならではの新たな産業「サンゴ産業」のビジネスモデルを確立する。村内に蓄積されている専門家の知見と、島民の技術を活かし、養殖サンゴを増産し国内外の地域や水族館に販売し、育成指導を行う。
- ③ 慶留間島では留学制度を定着させる… 集落存続と定住人口増加のため、現在行われている留学制度を支援し、優秀な小中学生を受け入れ、大自然に抱かれた学習環境の中で 21 世紀を担うたくましい人材を育てる。